

近畿地方建設局 和歌山工事事務所
和歌山県 土木部 河川課

資 料 配 付

配布日時

平成12年5月30日(火)
10時00分

件 名

紀の川及び市脇川における

ダイオキシン類調査の結果について

取 り 扱 い

同 時 配 布

和歌山県政記者クラブ
和歌山県地方新聞記者クラブ
和歌山県政放送記者クラブ

問 い 合 わ せ 先

建設省 近畿地方建設局 和歌山工事事務所
副 所 長 上下 芳夫
調査第一課長 仲村 学
(TEL 073-424-2471)
和歌山県 土木部 河川課
副課長(事) 山下 清次
" (技) 東 紀光
(TEL 073-441-3133)

紀の川及び市脇川におけるダイオキシン類調査の結果について

1. 調査の背景

建設省近畿地方建設局及び和歌山県では、和歌山県橋本市の産業廃棄物中間処理場からの浸出水よりダイオキシン類が検出されたことを受けて、紀の川及び市脇川におけるダイオキシン類の調査を平成12年3月9日及び10日に実施した。

2. 調査内容

調査対象物質：ダイオキシン類

3. 調査結果

ダイオキシン類調査結果

水質の測定結果は、0.10～0.12pg-TEQ/Lの範囲にあり、環境基準値である1pg-TEQ/Lを下回っている。

底質の測定結果は、0.11～30pg-TEQ/gの範囲であり、環境庁が平成10年度に実施した「ダイオキシン類緊急全国一斉調査」における底質の濃度の範囲内（中小都市地域：0.0013～160pg-TEQ/g）にある。

ダイオキシン類の測定結果

単位：水質 (pg-TEQ/L)、底質 (pg-TEQ/g-dry)

試料	測定項目名	船戸	三谷橋	市脇川	環境基準
水質	ダイオキシン類	0.11	0.10	0.12	1
底質	ダイオキシン類	0.60	0.11	30	—

参考 1

ダイオキシン類緊急全国一斉調査結果（環境庁 平成10年度実施）

媒 体	測定地域	平均	中央値	範 囲	地点数	全 体
水 質 pg-TEQ/L	発生源周辺	0.54	0.13	0.0052~13	79	平均 0.40 中央値 0.11 範囲 最小 0.0014 最大 13 地点数=204
	大都市地域	0.38	0.14	0.0044~3.8	59	
	中小都市地域	0.29	0.080	0.0061~3.5	59	
	バックグラウンド	0.047	0.014	0.0014~0.14	7	
底 質 pg-TEQ/g -乾燥重	発生源周辺	8.5	0.38	0.00087~260	79	平均 7.7 中央値 0.41 範囲 最小 0 最大 260 地点数=205
	大都市周辺	9.6	0.90	0.0014~200	60	
	中小都市地域	5.5	0.39	0.0013~160	59	
	バックグラウンド	0.75	0.033	0~4.9	7	

※

ダイオキシン類緊急全国一斉調査結果について（平成10年度実施） 環境庁環境保健部環境リスク評価室、大気保全局、大気規制課、水質保全局地下水・地盤環境室、水質管理課、水質規制課、土壌農薬課による

参考 2

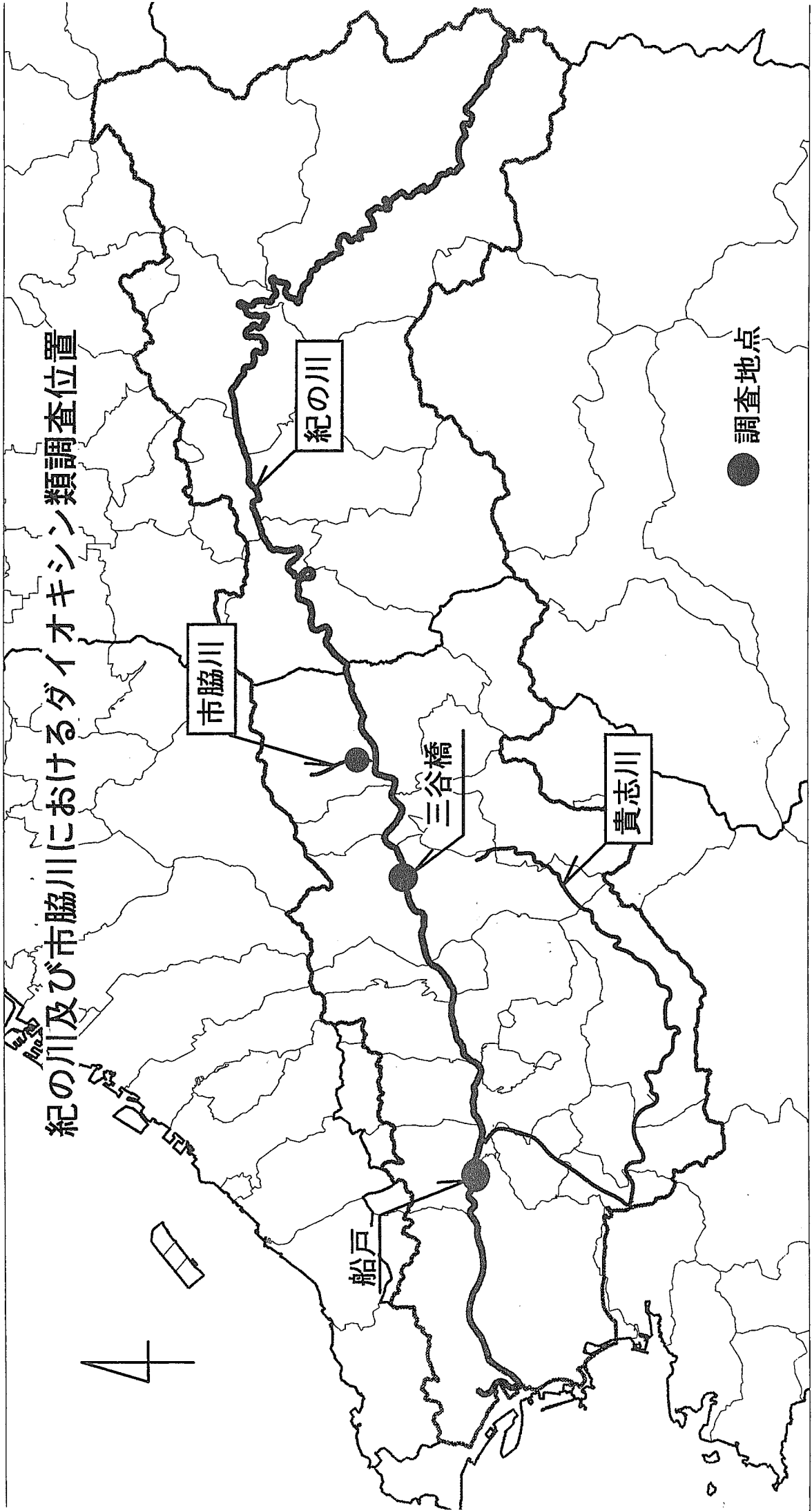
関連調査結果

水 質	三 谷 橋		船 戸	
	H12.3.9採水	H12.3.10採水	H12.3.9採水	H12.3.10採水
PH	6.9	6.7	7.0	7.1
SS mg/L	2	2	4	3
COD _{Mn} mg/L	1.7	1.6	2.3	2.5
底 質	H12.3.9採取			
強熱減量 %	1.0		1.1	
TOC mg/g	1.1		2.0	
粒度組成 %				
粗礫分	0		0	
中礫分	13		10	
細礫分	7		21	
粗砂分	36		62	
細砂分	40		4	
シルト	4		3	
粘土分				

水 質	市 脇 川	
	H12.3.9採水	H12.3.10採水
PH	8.4	8.4
SS mg/L	1	8
COD _{Mn} mg/L	2.6	3.4
底 質	H12.3.9採取	
強熱減量 %	32	
TOC mg/g	98	
粒度組成 %		
粗礫分	0	
中礫分	0	
細礫分	0	
粗砂分	3	
細砂分	6	
シルト	63	
粘土分	28	

※粒度組成の区分
 粗礫分 19~75mm
 中礫分 4.75~19mm
 細礫分 2~4.75mm
 粗砂分 0.425~2mm
 細砂分 0.0075~0.425mm
 シルト分 0.005~0.075mm
 粘土分 0.005mm以下

紀の川及び市脇川におけるダイオキシン類調査位置



● 調査地点

紀の川

市脇川

三谷橋

貴志川

船戸

4